

高梁市総合計画・前期基本計画
(第2期 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略)
施策の進捗状況

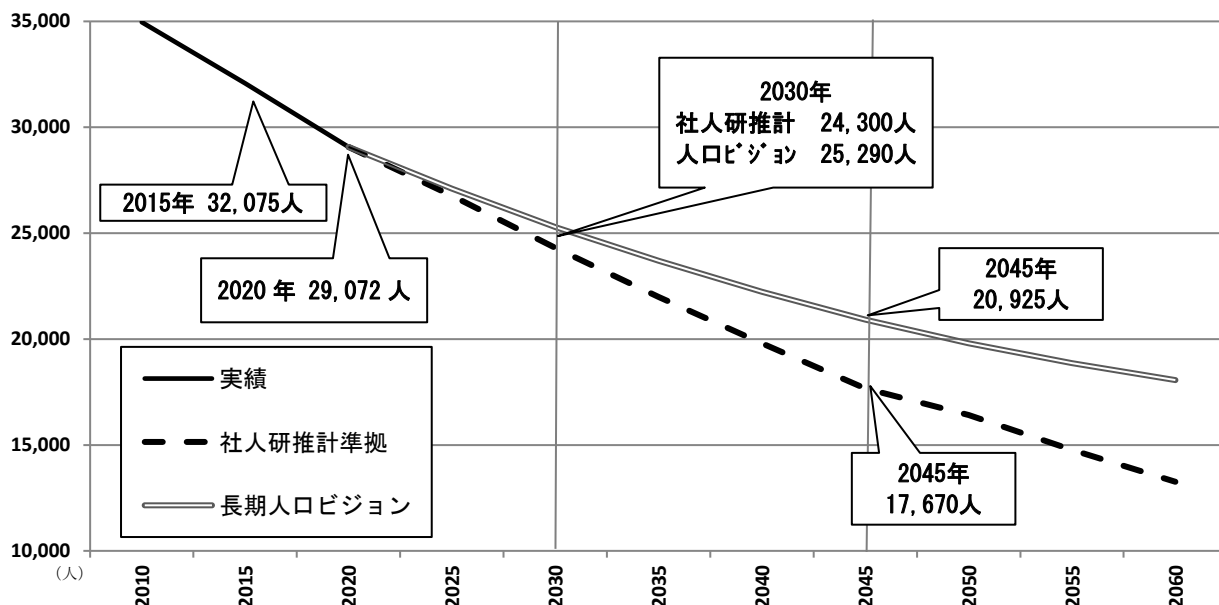
令和6年9月
高 梁 市

目 次

1. 長期人口ビジョン達成に向けた基本目標の状況.....	1
2. 各施策の進捗状況（施策マネジメントより）.....	2
基本方針1 地域産業・地域資源を活かした活力あるまち	
政策1 地域産業の振興と安心して働ける環境づくりを進めます	
施策1 農林水産業の振興	2
施策2 農山村の振興	3
施策3 商工業の振興	4
施策4 新たな産業の創出と雇用環境の充実.....	5
政策2 観光交流人口を拡大し賑わいあるまちづくりを進めます	
施策1 観光の振興	6
基本方針2 美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまち	
政策1 自然を守り環境にやさしいまちづくりを進めます	
施策1 環境保全対策の推進.....	8
施策2 循環型社会の形成	8
政策2 安心・安全なまちづくりを進めます	
施策1 生活安全対策の充実.....	10
政策3 都市機能の維持と快適な住環境の整備を進めます	
施策1 都市機能の維持・確保.....	11
施策2 公共交通手段の確保.....	12
施策3 社会インフラの充実.....	12
基本方針3 心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち	
政策1 健康で心豊かに暮らせる環境を整えます	
施策1 健康づくりの推進	14
施策2 地域包括ケアシステムの推進.....	15
施策3 地域医療体制の充実.....	16
施策4 感染症対策の推進	17
政策2 安心して子どもが生まれ育つことができる環境を整えます	
施策1 子育て支援の充実	18
政策3 みんなで支え合い助け合う地域福祉活動を進めます	
施策1 障害者（児）福祉の充実.....	20
施策2 高齢者福祉の充実	20
施策3 地域福祉活動の推進.....	21
基本方針4 たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまち	
政策1 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます	
施策1 学校教育の充実	22
施策2 教育体制・環境の整備.....	23
政策2 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります	
施策1 生涯学習の推進	25
施策2 文化財の保存と活用.....	26
施策3 スポーツの振興	27
政策3 人権を大切にする共生のまちづくりを進めます	
施策1 人権尊重・男女共同参画社会の実現.....	29
施策2 多文化共生社会の実現.....	29
基本方針5 多様な主体との連携・協働による持続可能なまち	
政策1 市民が主役のまちづくりを進めます	
施策1 市民が主役のまちづくりの推進.....	31
施策2 公聴広報の推進	31
政策2 産学官民連携のまちづくりを進めます	
施策1 学園文化都市づくりの推進.....	33
政策3 持続可能な行財政運営を行います	
施策1 時代に対応した行政経営の確立.....	34
横断的政策1 人口減少対策に取り組みます	
施策1 移住・定住の促進	35
横断的政策2 災害に強いまちをつくりま	
施策1 防災対策の強化	37
横断的政策3 未来革新技术を活用します	
施策1 Society5.0 の推進	39

1. 長期人口ビジョン達成に向けた基本目標の状況

【長期人口ビジョン】



【長期人口ビジョン実現の前提条件】

- ①合計特殊出生率が徐々に向上し、2030年以降に国の長期ビジョンと同水準となる。
(2030年：1.8 2040年 2.07)
- ②転出超過となっている社会動態が徐々に改善し、2025年以降に均衡する。
(転入・転出の差がゼロとなる)

【長期人口ビジョン達成に向けた基本目標】

指標	現状値	実績値			目標値
人口の社会増減 (転入者－転出者)	H27～R1平均値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	R3～R7年平均値
	▲163人／年	▲349人／年	▲415人／年	▲334人／年	▲79人／年

※岡山県毎月流動人口調査（年報）より

指標	現状値	実績値			目標値
年少人口(0～14歳)の割合	令和元年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年
	9.1%	8.6%	8.3%	8.4%	9.2%

※岡山県毎月流動人口調査（年報）より

【要因分析】

令和5年における人口の社会増減は、過去10年間で最も多い転出超過であった前年度（▲415人／年）より転出超過は縮小した。新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類に移行し、それまで抑制されていた人流の回復等により、県外からの転入が増加、一方で、転出は減少したことが要因としてあげられる。

年少人口の割合は、前年度よりも0.1%回復したものの、近年の出生数の減少が影響し、依然として低い数値で推移している。

2. 各施策の進捗状況（施策マネジメントより）

基本方針 1	地域産業・地域資源を活かした活力あるまち
政策 1	地域産業の振興と安心して働ける環境づくりを進めます

施策 1 農林水産業の振興

1 市内産農林水産物の消費拡大に努めます
農地と耕作者のデータを集約し高梁市全域において、人・農地プランを実質化した。現在「地域計画」の策定に向けて地域での話し合いを推進しており、農業上の利用が行われる地域を整理し、新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進めるとともに、ぶどう・トマト等の主要農産物や地域で消費される農産物の供給力を強化していく。「地域計画」の策定が各種補助金に紐づけられるため、新規就農などに選ばれる地域となるためにも策定は喫緊の課題である。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
農産物直売所の販売額	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	494百万円	489百万円	496百万円	520百万円	545百万円
ぶどう販売額	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1,007百万円	1,282百万円	1,197百万円	1,375百万円	1,107百万円
トマト販売額	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	356百万円	330百万円	359百万円	363百万円	391百万円

2 農林業の持続的な発展をめざします
就農フェアなどに積極的に参加し、新規就農者の確保に努める。新規就農者にとって、農地の確保は大きな課題であるため、湯野地域のは場への斡旋と合わせて、今後計画をしている平川地域の圃場整備などを行うことで、新規就農者の確保に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
新規就農者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	9人	8人	17人	26人	45人 (令和3年度からの累計)
担い手への農地集積率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	20%	21%	14%	16%	43%

施策2 農山村の振興

1 農山村の活性化を図ります

農地の多面的機能を十分に発揮させ、荒廃農地の防止・解消に向けて、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などを活用しているが、高齢化による継続困難なことが課題となっている。中山間地域等直接支払制度について第6期を迎えるにあたり、引き続き取り組む集落・農地を減らさないよう取り組み、集落へ働きかけるとともに、多面的機能支払交付金では、広域化組織を立ち上げ事務軽減を進め、取り組み集落を広げる。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
中山間地域等直接支払制度対象農地	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	854ha	865ha	874ha	874ha	888ha
多面的機能支払制度対象農地	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	269ha	249ha	229ha	231ha	279ha

2 森林の保全と有効活用を図ります

里山林整備事業について、令和6年度から面積要件、補助金上限額の見直しを行い、補助金の申請数が増加している。支援内容を周知し森林所有者が制度を活用することで森林の有する多面的機能の発揮、防災機能の強化につなげていく。

令和5年度のバイオマス発電所の稼働に併せて木質バイオマス安定供給事業補助金の交付を行い、市産材(R5 3311.1t)の確保を支援した。今後、年間1万tの市産材の確保を支援しバイオマス発電所の安定稼働を実現することで、「農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画」が掲げる利益を地域に還元する仕組みづくりを構築していく必要がある。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
里山林整備事業補助金	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0.2ha	1.5ha	0.4ha	0.5ha	2.0ha
造林作業路新設事業補助金	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	600m	300m	300m	300m	900m

3 有害鳥獣被害防止対策の充実を図ります

重点支援として国・県と連携し有害鳥獣対策を進めてきたことにより、近年の農業への被害額減少につながり成果が発揮できている。引き続き、支援を行うことで被害件数の増加の防止となり、地域の農業者の農業意欲の維持、農業所得の向上につながる。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
有害鳥獣捕獲頭数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	野猪 2,405頭/年	野猪 1,546頭/年	野猪 2,943頭/年	野猪 1,741頭/年	野猪 2,700頭/年
	野猿 62頭/年	野猿 93頭/年	野猿 124頭/年	野猿 96頭/年	野猿 100頭/年

施策3 商工業の振興

1 商工業の活性化を支援します

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、新規開業やリニューアル事業に着手する事業者が増加傾向にあるが、既存の店舗も経営者の高齢化に伴う事業承継ができずに空き店舗も増加している状況にある。令和4年度から補助制度を見直し、新規開業やリニューアルを行う事業者に対しては補助金の加算を行っている。また、空き店舗の活用として、商店街でのマルシェを開催し活用方法を検討していく。

商店街でのイベントについては、地元高校生や中学生とのコラボにより開催し、地域全体の活性化につなげていく。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
商工団体会員数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	992人・団体	974人・団体	962人・団体	958人・団体	900人・団体
助成制度を利用した新規事業所数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	7事業所	16事業所	20事業所	32事業所	31事業所 (令和元年度からの累計)

2 経営力の向上を支援し、担い手・後継者を育成します

市内中小企業等の意識改革や人材育成につながる企業懇談会やセミナーを開催し、昨今の経済状況を踏まえた意識改革を図る。また、人材育成につながる資格取得に係る経費の一部を補助することで、事業継続と経営強化を図る。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
助成制度を利用し経営革新や事業継承、リニューアルした事業所数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	2事業所	14事業所	24事業所	36事業所	26事業所 (令和元年度からの累計)

3 地場産業の振興と企業誘致を推進します

有漢工業団地は令和3年度に第1期が売却となり、令和4年度からは第2期の造成に取りかかっているところである。更なる企業誘致等に向け、関係機関と調整を図り、新規団地造成の検討や廃校、空き店舗の活用を図っていく。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
事業所数(製造・小売)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	471事業所	464事業所	402事業所	402事業所	440事業所
誘致企業数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0社	1社	1社	1社	3社
工業団地造成数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所 (令和元年度からの累計)

施策4 新たな産業の創出と雇用環境の改善

1 新たな産業の創設に取り組みます

新たに創業を計画している事業者を支援するため、商工団体と連携して創業塾を開催し、創業に必要な知識等の習得を図っている。国や県の制度を活用し、経済が動き出した状況に対応できる産業の創出を支援していく。

また、6次化産業を推進していくため、県普及指導センターや庁内関係課と連携して、製品開発や販路開拓・販売促進につなげていくとともに、市内の廃校や古民家を活用した市内創業も促進していく。

2 安定した雇用の維持・創出に努めます

市内の有効求人倍率が高止まりし、慢性的な人材不足に陥っている。市内就職者を増やしていくため、中学生、高校生を対象とした市内企業見学バスツアー等を継続的に開催し、若い世代に市内企業を知ってもらうための取組を進めていく。また、市内外の方に市内企業を紹介するため、Web等を活用した企業PRの方法を検討していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
年間の市内新規学卒者数の 市内就職決定者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	87人	71人	68人	55人	100人

3 新たな働き方を支援します

新型コロナウイルス感染症の拡大により、リモートワークなどの新しい働き方が浸透した。コロナ5類に移行後も新たな働き方として定着している。市内に整備されたコワーキングスペースの利用を促し、新しい働き方の意識改革とハード整備を推進していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
サテライトオフィス等の設置数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0件	2件	3件	2件	2件

基本方針 1 地域産業・地域資源を活かした活力あるまち

政策 2 観光交流人口を拡大し賑わいあるまちづくりを進めます

施策 1 観光の振興

1 観光交流人口の拡大に努めます

「備中松山城」と「雲海・さんじゅーろー」、「吹屋」と「ジャパンレッド」などのキーワードを軸にマスコミや旅行会社などに幅広いプロモーションを展開するとともに、二次交通の充実などの基盤整備を進めている。特に「吹屋」においては、旧吹屋小学校や日本遺産センターのオープン、人気ゲーム「ポケモンGO」とのコラボ企画など、全国に向けた情報発信によって知名度が上昇してきている。

今後、インバウンド観光需要が大幅に回復する中で、DMO（観光地域づくり法人）を中心に、市場調査・分析に基づいた観光戦略の策定とその戦略に基づいた着地型観光ツアー等の旅行商品の造成や食・土産物の開発、案内看板の多言語化など、ソフト・ハード両面での受入体制の整備を行う。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
年間観光客数(主要施設)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	447,000人	195,375人	301,849人	290,000人	600,000人

2 地域での観光振興活動を支援します

コロナ禍により自粛していたイベントも徐々に開催されており、コロナ禍前の賑わいを取り戻していくため、引き続き地域イベントの取組を支援していく。実行委員会の高齢化や人口減により長年続いていたイベントが中止に追い込まれている中、地域だけでの継続が困難な状況下で、地域外の方を巻き込む仕組みを構築する必要がある。また、DMOと連携し今後のインバウンド需要に備えたガイド研修等の開催やロケ支援からのロケツーリズムを積極的に取り組み、新たな観光コンテンツとして確立していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
観光ガイド活動実績	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	303件	189件	262件	177件	363件
ロケ支援件数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	31件	7件	28件	8件	40件

3 観光資源の掘り起こしやブラッシュアップによる魅力向上を図ります

DMOと連携し、二大観光地（備中松山城・吹屋）や他の観光資源の掘りおこしとブラッシュアップを図るために旅行商品の造成を進めている。また、周辺自治体（新見市・真庭市）と連携した広域ツアーの造成にかかるモデルコースの造成に着手しており、引き続き観光資源の魅力向上を図っていく。

4 観光振興を地域経済の発展につなげます

二次交通の強化（レンタカー事業の拡大、グリスロの導入）や体験メニューの開発により、滞在時間の延長につながる基盤づくりを進めているが、認知されるまでに時間を要するため継続的なプロモーションが必要である。

日本遺産認定ブランドの商品開発支援に着手しており、今後はブランド認定制度等を運営し魅力的な特産品開発に取り組んでいく。また、宿泊施設不足や食事メニュー開発の停滞に対し、DMOを中心に観光関係の事業者や団体とのネットワークを構築し、観光を経済効果につなげるという機運を高めながら一丸となって取り組んでいく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
1人当たり観光消費額(日帰り)	平成28年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	2,780円	2,780円	2,699円	2,699円	3,600円
観光宿泊者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	34,121人	17,073人	29,002人	24,000人	37,500人

基本方針 2	美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまち
政策 1	自然を守り環境にやさしいまちづくりを進めます

施策 1 環境保全対策の推進

1 環境保全活動に取り組みます

各地域で実施する一斉清掃や各種啓発活動を継続し、市民共通のかけがえのない財産である豊かな自然を次世代に継承していく。また、環境学習・教育を通じて環境に対する意識の醸成や、環境保全活動のさらなる活性化を図り、行政・市民・事業者等が参画・協働しやすい環境づくりに取り組んでいく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
高梁川流域クリーン作戦参加者	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	185人	0人	0人	0人	250人

2 地球温暖化対策に取り組みます

令和4年3月策定した「第2次高梁市環境基本計画」及び令和4年6月に表明した「ゼロカーボンシティ宣言」に掲げた取り組みを推進していくために、身近でできる省エネルギー活動や「COOL CHOICE」(クールチョイス=賢い選択)等の取組みを行政が率先して実践し、事業所・地域への拡大を図る。

令和5年度に策定した「再生可能エネルギー導入計画」を基に、令和6年度は「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定する予定。脱炭素社会の実現に向け、国・県・他自治体の動向に注視しながら、市民・事業所等と連携した施策を展開していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
エコチルドレン育成教室等の環境学習の回数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	5回	5回	6回	10回	12回

※エコチルドレン育成教室：次世代を担う子どもたちに対する環境学習

施策 2 循環型社会の形成

1 ごみの適正な処理を推進します

人口減少に伴いごみ総排出量は減少しているものの、一人当たりのごみ排出量は横ばい状態である。引き継ぎ、ごみ処理の有料化について研究・検討を行うとともに、ごみ減量化及びごみ処理費用の削減に向けて、あらゆる施策を検討する。

2 ごみの減量化・分別・リサイクルを進めます

ごみ減量に向け、必要な施策を検討するとともに、SNSの活用など広報のあり方を見直し、3Rが徹底できるよう啓発活動を行う。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
家庭系ごみの排出量(資源収集品を除く)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	597g/人・日	600g/人・日	590g/人・日	572g/人・日	485g/人・日
ごみのリサイクル率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	14.2%	13.9%	13.8%	13.8%	20.0%

基本方針 2	美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまち
政策 2	安心・安全なまちづくりを進めます

施策 1 生活安全対策の充実

1 地域防犯対策の充実を図ります

防犯カメラの設置や高齢者を守る特殊詐欺対策機能付き電話の購入など、地域の防犯機能や市民一人ひとりの自主防犯意識を高めるための支援を継続して行うとともに、地域防犯団体との連携を図っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
犯罪認知件数(刑法犯)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	72件	50件	59件	64件	48件

2 消費者保護対策の充実を図ります

消費生活相談体制強化のため、職員のスキルアップのために研修等に積極的に参加する。加えて、継続して啓発活動を行う。

3 交通安全対策の充実を図ります

交通安全教室を継続して行うとともに、夜光反射材の活用や、自転車の安全利用をはじめとした交通安全の啓発を行い、市民一人ひとりが事故に遭わない、起こさない意識をもつことができるよう、啓発活動や街頭査察等交通安全に関する活動を関係機関と連携して行う。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
交通事故件数(総事故件数)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	619件	493件	573件	574件	576件

基本方針 2	美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した安心・安全のまち
政策 3	都市機能の維持と快適な住環境の整備を進めます

施策 1 都市機能の維持・確保

1 計画的な土地利用を推進します

自然・歴史・文化と調和した、快適で魅力ある景観の保全、形成を図るため、高梁市景観計画及び高梁市景観条例を制定しているが、守るべき重点地区のエリアが広く、実情にマッチしていないため、重点地区エリアの見直しを検討していく。また、地域住民の町並み保存に対する意識の醸成と制度の周知に努めていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
地籍調査事業進捗率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	95.4%	95.6%	95.9%	96.0%	96.2%

2 都市機能を維持します

都市計画区域において、都市機能や居住の誘導・集積を時間をかけて行ううえで、必要な計画「高梁市立地適正化計画」を令和4年3月31日に策定公表した。これにより、都市機能誘導区域、居住誘導区域内に住宅、社会福祉、教育文化、商業施設等を緩やかに誘導し、人口密度を維持、持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

都市計画道路「南町近似線」および「下町薬師院線」の未整備区間について、整備に向け、令和2年度より準備を進めており、令和4年度末の事業認可を受け、令和5年度に詳細設計、令和6年度は用地測量・物件算定調査等を行う。当該事業に係る財源確保を念頭に、関係機関との調整および地権者との関係構築を行い、事業の円滑化を図る。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
都市計画道路整備延長	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	8,367m	8,367m	8,367m	8,367m	8,467m

3 住宅・宅地を整備します

子育て世帯向け住宅については、これまで6団地14戸を管理している。また、令和7年度に川面駅前に木造2階建の戸建て住宅を2戸建設予定。建設コストの上昇により財政負担が増加している。今後もこの状況が継続する恐れがある。

分譲宅地については、これまで高梁地域、有漢地域、成羽地域に29団地350戸の整備を行っている。令和4年度に下原中央団地を新規分譲し、9区画中、6区画が未売却がある。今後は未売却の分譲地と民間分譲宅地との販売動向などを考慮して、新たな分譲地について検討していく。

市営住宅等の維持管理については、令和3年度に改定した高梁市公営住宅等長寿命化計画の中で、耐用年数や安全性・入居率等を勘案し、改善・維持管理する住宅と募集停止・用途廃止とする住宅を決定した。今後は、改善が決定した住宅については年次計画で改善工事を行い、長寿命化を図っていく。また、募集停止・用途廃止が決定した住宅については、早急に募集停止を行い、適正な管理戸数に近づける。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
子育て支援住宅の建設戸数 (累計)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	13戸	13戸	14戸	14戸	17戸
市営住宅管理戸数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1,021戸	1,017戸	1,012戸	1,012戸	927戸

4 空き家対策に取り組みます

空き家情報バンクについては、今後も登録件数増加を目指して、各地域に空き家を活用した受け入れ体制の整備を働きかけていく。また専門家や専門業者を含めた新しい組織を立ち上げてプラットフォームを構築していき、NPO等が所有者等に寄り添って、空き家の活用・管理に係る相談対応や所有者等と活用希望者とのマッチング等の活動をしやすくなるような環境整備を進めていく。

老朽危険空き家の除却費用の助成は、問い合わせも多いため、補助の拡充を行い、事業を継続していく。また、近隣住民から対応要望がある老朽危険空き家については、所有者や相続人等に対応の依頼を行うが、迅速な対応が望めない場合、周囲の住環境の安全等を図るため、代執行を含めた対応の検討を進める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
空き家情報バンク新規登録物件数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	65件	29件	86件	76件	70件

施策2 公共交通手段の確保

1 利用しやすく効率的な公共交通を維持するとともに、公共交通機関の利用促進を図ります

第2次高梁市地域公共交通網形成計画に係る再編実施計画に基づき、路線バス3路線、生活福祉バス1路線、乗合タクシー2地域のそれぞれ休廃止を行った。

現在、令和7年度から5か年を見据えた「高梁市地域公共交通計画」の策定を行っており、その際市民や利用者へのアンケートを実施することで公共交通利用満足度を市民アンケートにて取りまとめるを行う予定である。満足度調査については毎年の調査をしていないが、市が関与する公共交通（生活福祉バスや乗合タクシー等）の利用者数は令和元年度が12,356人に対し、令和5年度は9,503人であり、コロナ禍による減少を回復できていない状況である。

また、市内運行事業者との協議の中において、新たな公共交通（乗合タクシーを想定した区域運行やライドシェア）の検討を踏まえ計画へ盛り込んでいく予定である。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
地域公共交通サービスに関する満足度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
(アンケート調査の5段階評価平均点、満足5、やや満足4、どちらでもない3、やや不満2、不満1)	3.09	毎年の調査なし	毎年の調査なし	毎年の調査なし	3.3

施策3 社会インフラの充実

1 道路・橋梁の整備・管理に取り組みます

道路改良等を計画的に実施するとともに、定期的なメンテナンスを行うことで、安全・安心なインフラ整備を行っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
市道の規格改良率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	28.3%	28.3%	28.3%	28.3%	28.6%
市道の舗装率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	81.0%	81.0%	81.0%	81.1%	81.5%

2 上下水道施設の整備・管理に取り組みます

社会情勢の動向を注視しながら、経営状況に応じて経営戦略や使用料の見直しを行う。水道施設が老朽化しており、アセットマネジメントに基づく維持管理とは別に、老朽化による漏水修繕をはじめとした通常の修繕工事も多発しており、独立採算の水道会計を圧迫してきていることが課題となっている。また、経営戦略に基づく継続的な経営分析を定期的に行い、適切な時期において相当の使用料改定を検討することも必要となってきた。経営改善に向けた主要な取組として有収率の改善を掲げており、新たな漏水の早期発見、修繕にあわせ民間を活用した計画的な漏水調査も継続して行っているが、施設の老朽化による漏水が増加している現状の中、今後、新たな手法を取り入れた漏水調査、また計画的な管路の更新を図り、有収率を向上させていく。

ストックマネジメント計画、耐水化計画に基づき、国県の補助金等を活用しながら財源確保に努め、計画的な施設更新を行う。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
有収率 (有収水量／総配水量) ※給水量と料金として収入のあった水量の比率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	77.1%	72.6%	76.5%	74.0%	83.0%
下水道処理区域内の水洗化率 (接続人口／処理区域内人口)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	95.0%	96.0%	96.0%	95.9%	97.0%

基本方針 3	心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち
政策 1	健康で心豊かに暮らせる環境を整えます

施策 1 健康づくりの推進

1 生活習慣病予防を推進します

特定健康診査の受診率は国や県と比較し依然として低く、特に 40 代、50 代の若い世代の受診率が低い。医療費からみると、慢性腎臓病（透析あり）、糖尿病、高血圧症等の生活習慣病に関する疾病や大腸がんの医療費が高くなっている。引き続き、受診率向上に取り組み、健康状態を把握できる人を増やすことで、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげていく。また、生活習慣の改善、運動習慣の定着に向けた環境づくりと重症化リスクの高い人に対しては、個別に保健指導を強化し重症化予防に取り組む。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
特定健診受診率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
	29.3%	25.1%	26.1%	28.3%	60.0%	
特定保健指導率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
	28.9%	37.5%	41.1%	28.2%	60.0%	
大腸がん検診受診率 50歳～69歳の男女※	平成29年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
	8.4%	7.6%	5.6%	5.6%	20.0%	
敷地内全面禁煙の実施施設 (市有施設数)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	53	53	52	53	148	

※【出典：厚生労働省 平成 29 年度地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）】
がん対策推進基本計画（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢をそれぞれ定めている。

2 母子の健康づくり活動を推進します

伴走型相談支援も始まり赤ちゃん訪問は全戸訪問できている。また 1 歳 6 か月児健診もほぼ受診できており、未受診者についても把握ができている。支援内容が多岐にわたり、関係機関と連携する中で業務量が減っていかないことが課題ではあるが、サポートプランを活用しながら引き続き切れ目ない支援を継続していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
生後4か月までの赤ちゃん訪問実施率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	94.5%	97.5%	100%	100%	100%	
1歳6か月児健診受診率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	98.5%	93.5%	95.2%	97.8%	100%	

3 心の健康づくりを推進します

愛育委員を中心に、こころの健康についての健康教育、ゲートキーパー養成講座を実施することができた。妊産婦は体調や環境の変化によりメンタル不調が起こりやすいことから、産婦健診で産後のメンタルチェックを行い、要支援者には早期介入を行う。

精神障がい者の長期入院者には医療機関と協議し、地域移行できるケースを選定し、支援をしていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
講演会・健康教室実施回数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	20回	22回	25回	22回	30回
ゲートキーパー養成講座受講者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	179人	230人	298人	733人	500人

施策 2 地域包括ケアシステムの推進

1 介護予防・重度化防止の推進を図ります

元氣なからだづくり隊は毎年 1～2 カ所新規登録グループがある一方、既存グループは活動がマンネリ化しやすい。そのため新たな体操（セラバンド）や運動指導士の派遣を行い継続して活動できるよう支援している。また、グループの登録に地域差があるため、現在登録がない地区に対しては新規グループ登録へ向けて働きかけが必要であり、また現在登録がある地区へも新規グループができるよう生活コーディネーターを中心に働きかけを行っていく。

「介護予防・日常生活支援総合事業」における通所型サービス B として、巨瀬地域の「もくもく DAY」と有漢地域の「うかん気楽会」の市内 2 カ所で実施している。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
通いの場数(週1回以上実施)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	20箇所	21箇所	23箇所	24箇所	31箇所

2 認知症施策の充実を図ります

認知症に対する正しい知識と理解を推進する啓発活動を継続し、認知症の人の生活を地域で支えるチームオレンジの活動継続のための支援を行う。認知症サポーター養成講座やステップアップ講座の開催により支援者を増やすとともに、認知症カフェの運営や本人ミーティングの開催により、認知症本人やその家族が集える場の確保、本人の思いを発信する支援に取り組み、認知症にやさしいまちづくりに生かす。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
認知症カフェ設置数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	9箇所	9箇所	9箇所	10箇所	14箇所

3 生活支援体制の充実を図ります

令和 5 年度いきいき生活サポーター登録者 28 名、いきいき生活サポート事業利用者 6 名。令和 5 年度ボランティア養成講座では従来から開催していた高梁会場だけでなく、成羽会場も増やし 2 会場で開催したが、令和 6 年度は現在ボランティア登録者がいない地区で養成講座を開催する予定。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
生活支援ボランティア養成者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0人	16人	20人	28人	100人

4 介護分野で働く専門職の養成・確保を図ります

市と事業所が連携し介護人材の確保、介護職員の負担軽減を図ることで、適切なサービスが提供できる体制を構築する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
介護福祉士養成修学支援事業による支援者の市内就職者数(延べ)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	0人	4人	6人	10人	30人	

施策3 地域医療体制の充実

1 持続可能な地域医療体制の充実を図ります

市内で不足する看護師等の医療人材の確保に向けて、令和5年度から開始した補助金メニュー（定着促進、復職、業務効率化・働き方改革推進支援事業）について、市内医療機関に対して制度の周知及び活用に向けて支援を行う。また、看護学生を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、今後の人材確保に向けた取り組みを検討する。

公立診療所について、受療状況や交通アクセスの状況を踏まえ、民間医療機関や市民の意向等を把握したうえで、オンライン診療等の可能性も検討しながら、効率的、効果的な医療提供体制の在り方を検討していく。

成羽病院においては、へき地医療拠点病院としての使命を全うしていくため、医師等の医療従事者の確保、並びに病院経営状況の改善に取り組んでいく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
看護師等奨学金貸付者等の市内就職者数(累計)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	14人	17人	21人	23人	26人	
医療・介護従事者のスキルアップ研修会参加者数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	486人	342人	278人	277人	490人	

2 医療と介護の連携を推進します

医療と介護の連携した場面で質の高いサービスが提供できるよう、専門分野を越えた多職種合同の研修会を継続して実施するとともに、さらなるケアや支援の向上、顔の見える関係性の構築により業務の効率化を図る。さらに、ICTの利活用を含めた多職種連携体制の強化を目指し、今年度より全市的に ICT ツール（ラインワークス）を活用した情報共有に取り組む事とした。（87事業所・113IDにより開始）

また、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるよう、人生会議（ACP）を医療・介護関係者が適切に理解できるよう促進するとともに、市民への普及・啓発を図る。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
多職種連携研修会参加者数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	140人	77人	188人	181人	140人	

施策 4 感染症対策の推進

1 感染症対策を推進します

新型コロナウイルス感染防止対策としてワクチンが重症化予防に有効であることを、広報紙や高齢者が集まる地区健康教室、愛育委員、民生委員会等で説明し、高齢者施設に接種勧奨を行った。今後は、コロナワクチンの接種義務はなくなったことから接種勧奨はしないが、インフルエンザ、コロナワクチンとも接種費用の助成を行い、まん延防止に取り組んでいく。

BCG 予防接種は、目標値 100%を達成している。対象（持病のある児の出生、ワクチン接種を希望しない保護者）などにより変化する可能性があるため、赤ちゃん訪問、乳児検診において、接種の必要性について説明していく。また、結核についても感染者の発生があることから、結核健診の必要性について広く市民に周知をしていく。

麻しん・風しん混合 2 期は、就学前健診時にワクチンの接種勧奨を行っている。全国的に麻しんの患者発生や先天性風疹症候群を防ぐためにも引き続き、未接種者に対しては個別に勧奨をしていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
高齢者のインフルエンザ 予防接種率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	58%	58%	56%	56%	70%
BCG予防接種率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	100%	100%	86%	100%	100%
麻しん・風しん混合 2期 予防接種率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	97.12%	94.7%	95.9%	93.1%	100%

基本方針 3	心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち
政策 2	安心して子どもが生まれ育つことができる環境を整えます

施策 1 子育て支援の充実

1 子どもの生きる力を育むための地域づくりを支援します

市の出生数が減少している中でファミリーサポート事業の会員数は減少していない。児童数の増減状況から推測すると会員数は増えていると考えられるが、利用状況は芳しくない。
高梁市ホームページ内に子育て支援サイトを構築し、市の取組みについて周知を図る。(SNS を活用しプッシュ型広報に努める)

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
ファミリー・サポートセンターの提供会員・両方会員数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	28人	29人	28人	32人	42人

2 切れ目のない子育て支援の充実を図ります

出産から子育てまで支援していく中で、個別の不安や相談に対応していけるよう、専門職の配置や一時預かり施設の必要性を検討するとともに、切れ目のない支援を行うため、令和6年5月に設置した「こども家庭センター」により、さらなる相談支援体制の充実を図る。

また、男性が育児休業を取得しやすくなる国の育休制度の改正も踏まえて、企業にも育休や子育てへの理解を深めてもらう取り組みをさらに進め、仕事と子育ての両立がしやすい環境づくりをしていくことにより出生率の向上を推進する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
健診未受診者の把握率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	100%	100%	100%	100%	100%
子育て支援センター利用率 ※0歳～2歳児の登録者割合	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	43%	32%	29%	31%	50%

3 教育保育サービスの環境整備及び質の充実を図ります

教育保育の質の向上については、高梁市就学前教育保育課程を実践しており、専門的な指導・助言を行うことで一定の成果を得られている。こども園・保育園では、職員の研修時間の確保が困難となっているが、引き続きアドバイザーの配置を行い、幼児教育・保育の質の向上を図っていく。

また、幼稚園の園児数は年々減少しており、小規模園では、集団活動に課題が生じている。教育・保育の質を向上させるためにも、今後の教育保育施設について方向性を示していく。

認定こども園の整備については、令和6年4月におちあいこども園（私立）が開園、令和7年4月に高梁こども園（仮称・公立）が開園予定で事業着手しているが、大阪万博や能登半島地震の影響に加え、建設現場の働き方改革により人員確保も困難になることも想定されることから、工事の安全管理に努めつつ、適切に進捗管理を行っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
認定こども園の数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	5箇所
一時預かり実施施設数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所
学童保育支援員資格保有率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	47%	51%	61%	71%	70%

4 子育てに悩みを抱える家庭をサポートします

令和6年4月1日に設置した「こども家庭センター」が調整役となり、サポートプランとケース会議を連携させ、こどもの願いを達成できる支援体制を構築する。また、子どもたちが安心して成長できるよう教員・民生委員への啓発を今後も行っていく。

ひとり親家庭への養育費確保支援事業補助金や就労能力の資質向上のため高等職業訓練促進給付金について、面談時や広報等で周知を図り、経済的な自立に向けたサポートを行う。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
虐待等についての啓発事業回数 ※民生委員会出席・学校訪問・広報活動	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	32回	45回	26回	49回	50回
ひとり親就労相談による就職率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	36%	66%	25%	100%	50%

基本方針 3	心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち
政策 3	みんなで支え合い助け合う地域福祉活動を進めます

施策 1 障害者（児）福祉の充実

1 障害者（児）の生活を支援します

障害者の相談支援体制の強化、居場所づくり、日中活動の場の充実が求められており、市自立支援協議会をはじめとする関係者と協議を進めてきた。相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置を進める中で、障害者の生活を地域で支える地域生活支援拠点等の整備を進める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
地域活動支援センター I 型及び地域生活支援拠点の設置数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所
一般就労移行者数(年度末人数)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	4人	4人	4人	4人	8人

2 希望に即した障害福祉サービスの充実を図ります

基幹相談支援センターを設置し相談支援体制を強化するとともに、切れ目のない支援体制を継続するため、関係機関の連携体制の強化を図る。

障害福祉サービスの提供状況や課題を的確に把握し、サービスの供給体制が充実するよう関係事業所との協力・連携体制を構築する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
訪問系サービス(居宅介護)利用者数(月平均)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	19人	18人	19人	20人	35人

施策 2 高齢者福祉の充実

1 高齢者の生きがいづくりと活躍の機会を支援します

企業の再雇用の広がりや退職後の働き方の変化など、シニア世代のライフスタイルに様々な選択肢が増えている。そのため、シルバー人材センターへの会員登録や老人クラブへの加入など、新たな人員確保が年々困難になってきている。

会員数の減少は、安定的な事業の継続や生きがい活動等の縮小に直結することから、広報活動に注力し、会員確保に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
シルバー人材センター事業就労人数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	13,966人	13,369人	12,757人	12,849人	15,500人

2 高齢者福祉サービスを推進します

福祉移送サービスは、住み慣れた地域で自立した生活を維持するために不可欠な交通手段として定着している。需要は高いがドライバーの高齢化と確保が課題である。人口減少、少子高齢化は高齢者への福祉サービスを提供するボランティア、サービス事業所の人材確保にも深刻な影響を与える。令和6年度は国土交通省の「共創モデル実証プロジェクト」による通所介護施設共同送迎事業により、効果を検証する年としている。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
福祉移送サービス事業 利用人数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	3,944人	4,350人	4,722人	4,901人	4,000人
健やか高齢者生きがい支援事業 利用人数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	5,164人	3,087人	3,220人	3,048人	5,400人

施策3 地域福祉活動の推進

1 地域の福祉活動を推進します

成年後見制度の利用促進及び対応強化の推進役となる中核的な機関として令和3年4月1日に高梁市権利擁護センターを設置し、運営を高梁市社会福祉協議会へ委託している。地道な広報活動の成果もあり相談件数は年々増加している。高齢者の増加とともに成年後見制度による支援を必要とする人が今後も激増する見通しであるが、後見人の人材不足が課題である。専門職の後見人不足のため、市民後見人の養成に取り組んでいるが、市民後見人の高齢化も課題となっている。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
中核機関(権利擁護センター) における相談件数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	179件	278件	345件	591件	200件

※現状値は中核機関設置前の相談件数

2 低所得者の生活を支援します

令和3年度から就労支援員を任用したことにより、ケースワーカーと連携した就労支援を行っている。体調不良等により就労困難なケースも存在するため、健康管理と合わせた支援が必要である。また、就労しても長続きしないケースもあるため、就労後の様子の聞き取りなども行っている。令和5年度の求人は横ばいであり、就労場所の新規開拓も不可欠である。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
就労支援による被保護者就労者率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	23%	33%	33%	30%	30%

基本方針 4 たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまち

政策 1 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます

施策 1 学校教育の充実

1 確かな学力の育成を図ります

I C Tの日常的な利用の状況については、引き続き高い実績が確認できた。ふるさと学習や探究的な学び等を中心とした児童生徒の学びの一層の充実と端末の利活用を引き続き推進しながら、教員の授業改善を一層進めていきたい。児童生徒に身に付けさせたい力は何か、そのためにどのような指導を行うのか明確にした授業を展開できるよう、各種研修会や教科会等を通じて教職員の力量アップを図る。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
全国学力・学習状況調査における平均正答率との差	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小…公立全国平均	小…公立全国平均	小…公立全国平均	小…公立全国平均	小…公立全国平均
	-0.5	-3.9	-0.9	-1.6	+1.0
	中…公立全国平均	中…公立全国平均	中…公立全国平均	中…公立全国平均	中…公立全国平均
	-1.0	-0.2	+0.1	-1.8	+1.0
ICTを活用した指導・支援を日常的に行っている教員の割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	69.7%	91.5%	91.9%	92.8%	100.0%
校務支援ソフトのメニューを有効に活用している教員の割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	令和3年度より運用	—	87.8%	94.3%	100.0%

2 個に応じたきめ細やかな指導体制の充実を図ります

教職員の特別支援教育に係る専門性を高めるため、特別支援教育支援員研修会、特別支援教育コーディネーター研修会、希望者によるスキルアップ研修会を開催した。また、特別支援学級担任の特別支援学校免許状の取得を推奨している。児童生徒の自立と社会参加を見据えた適切な学びの場が選択できるよう、特別支援学級等の入級基準や手続き等について、学校関係者や保護者、関係機関等に周知を行う。特に、特別支援学校免許状の取得の推進については、異動等により取得者の転出等はあるが受講中も含めると毎年保有率は向上している。引き続き積極的な推進を継続していく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
小中学校特別支援学級担任の特別支援学校教諭免許保有率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	46%	42.3%	55.2%	45.8%	100%

3 豊かな心と健やかな体を育てます

中学校では総合的な学習の時間を中心に、地域で活躍する人の思いや願いを聞くことで、将来の夢や目標について考える機会となっている。小学校では、学級経営の不安定さが、自己肯定感の低下や夢や目標を持てると回答した割合の減少につながっていると考え。教員と児童生徒との関係づくり、児童生徒同士の関係づくりを基盤とした学級経営の必要性について、各種研修会を通じて周知を行う。「将来の夢や目標を持っている」生徒は、全国平均と比べても高い割合となっており、引き続き魅力的な学校づくりの支援を継続したい。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小6…81.2%	小6…88.1%	小6…88.7%	小6…80.8%	小6…100%
	中3…84.6%	中3…83.2%	中3…74.4%	中3…90.0%	中3…100%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小6…96.0%	小6…97.6%	小6…96.9%	小6…96.2%	小6…100%
	中3…97.0%	中3…95.2%	中3…96.2%	中3…98.9%	中3…100%
「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小6…84.6%	小6…89.2%	小6…83.6%	小6…76.9%	小6…100%
	中3…72.7%	中3…78.9%	中3…66.3%	中3…74.6%	中3…100%

4 地域との連携を活かした教育を進めます

地域資源を活用した多様な取組が行われている。しかしながら活動がマンネリ化し、児童生徒等にどのような力をつけたいのか、目的が曖昧になっている状況が見られる。総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習の推進、特色ある学校づくり事業の拡充を行うことで、学校と地域との連携を深めていく。また、その基盤としてのコミュニティスクールの活動の充実を図る。令和3年度から実施した特色ある学校づくり事業は年々認知も向上しており、予算獲得により特色ある教育活動を目指す学校も徐々に増えてきた。しかし、予算の獲得と地域連携の充実は比例するものではないので目標値としての妥当性も引き続き研究したい。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
特色ある学校づくりに取り組む小中高等学校の割合	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	令和3年度より開始	43.5%	27.3%	31.8%	90%
「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査より)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小6…77.7%	小6…81.6%	小6…71.6%	—	小6…100%
	中3…68.1%	中3…62.7%	中3…58.8%	(全国学力・学習状況調査の質問項目削除)	中3…95.0%

施策2 教育体制・環境の整備

1 適切な学校配置と一貫した教育体制づくりをめざします

高梁市独自の学級編制を令和3年度から小学校1学級30人以下に、令和4年度から中学校1学級35人以下に引き下げたところ、きめ細やかな指導等の実現や教室のゆとりの確保ができた。今後も引き続き、市独自の学級編成を行い、教育効果を向上させていきたい。全ての学校園において、「高梁市の一貫教育全体構想図」「たかはしベーシック」の内容をカリキュラムに位置付け実施している。各種研修会等を活用し、保幼こ小中の担当者同士で協議する場を設定するなど、中学校区等において具体の実践を進めるようにする。また、児童生徒数の減少が想定以上に加速化していることから、小中学校の適正配置を再検討するため、学校園適正配置検討委員会を設置し、委員会から「高梁市立学校園適正配置に関する報告書」の提出を受け、それを基に各地域(13か所)で意見聴取会を実施した。適正配置が確定することで、教育課程に関する共通の取組も一層推進されることが考えられる。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
「近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」学校の割合(全国学力・学習状況調査より)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	小…60.0%	小…46.2%	小…85.7%	小…58.3%	小…85.0%
	中…83.3%	中…100%	中…83.3%	中…83.3%	中…100%

2 安心・安全な給食の提供と食育を推進します

野菜等、JAの協力により使用率の拡大を図ってきたが、市場の廃止もあり市内産野菜の使用率低下は避けられない状況のため、今後は県内産品の使用率の向上を目指していきたい。また、食育の面では栄養教諭が受配校において、「食に関する指導」のカリキュラムにより、栄養のバランス、地産地消、フードロス等の指導を行い、給食を生きた教材として活用している。今後も関係機関と連携しながら、安心安全な給食を提供するとともに、子どもたちや保護者に食の大切さを伝えていく。学校給食センターの再編と調理等業務の民間委託について、給食センター再編検討委員会で協議・検討を重ね、令和5年12月に提言書の提出を受けた。今後は、令和5年12月に策定した再編方針に基づき、令和8年4月の再編及び民間委託の実施に向けて取り組んでいく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
学校給食での市内産品の使用率※	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	14.9%	16.6%	21.3%	11.6%	50.0%

※ 全使用品目に対する市内産分の延べ使用回数割合を年2回(各1週間)集計したもの

3 学校施設・設備の充実を図ります

学校のICT環境については、1人1台端末と普通教室への電子黒板の配備が完了し、特別教室への電子黒板も概ね配備できている。

施設整備については、利用頻度が高い特別教室への空調設備の整備及びトイレの洋式化・乾式化を順次進めており、今後も衛生管理という面からも重要な整備と考えていることから、適正配置計画を踏まえ対応していく。学校施設の中には、かなり老朽化している施設もあり、限られた予算の中で対応していく必要はあるが、学校施設は子供たちの学習・生活の場として、大半の時間を過ごす場所であるので、将来にわたって充実した教育活動を行えるよう長寿命化計画に基づき、環境整備を行っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
教室への電子黒板等の設置率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	22.3%	75.1%	78.1%	79.5%	100%
空調設備の特別教室整備率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	63.0%	68.5%	75.1%	75.7%	85.0%
トイレの洋式化率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	46.7%	50.1%	52.7%	54.7%	70.0%

基本方針 4 たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまち

政策 2 生涯学習の機会を広げ文化・スポーツの振興を図ります

施策 1 生涯学習の推進

1 生涯学習活動を推進します

公民館講座受講者数は、コロナ禍を脱し各地域で文化祭等の大型イベントは再開されたものの、参加者の多くを占める年配の方々が人の集まることを敬遠する傾向があること、高齢化により外出自体が困難になっている状況、あわせて人口減少の影響を受け目標値との乖離が生じている。

こうした中、地域に密着した生涯学習の推進や若者が地域の担い手となり活躍できる社会の実現に向け、令和5年度には、公民館を中心とした「レインボープロジェクト」を実施し、子どもたちを核として地域課題の解決を試みる取り組みを開始した。

令和6年度には、たかはし広がる子どもの夢事業を拡充し、子どもたちを地域で育むことを目的とし、地元企業が自ら企画・提案を行う「わくわくワーク」に取り組んでいく。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
公民館講座受講者数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	17,880人	7,304人	6,819人	9,463人	20,000人
青少年の体験講座等の参加者数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1,839人	1,474人	957人	1,650人	2,000人

2 社会教育施設の充実を図ります

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、高梁市図書館の来館者が50万人を超えるなど、社会教育施設の利用状況は緩やかな回復傾向にある。

特に図書館では指定管理者の持つノウハウを活かし、地域活性化・賑わい創出を目的としたイベントを館内外で実施しており、目標を大きく上回る状況である。

誰もが気軽に社会教育施設を活用でき、多様化・高度化する学習ニーズに対応できる環境整備に向け、高梁市文化交流館の1階等の改修工事や川上総合学習センターホール改修工事、有漢生涯学習センター等へのWi-Fi環境の構築工事等に取り組んでいく。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
図書館主催の講座等の参加者数(延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	5,953人	10,848人	12,789人	11,986人	7,000人
図書館(室)の市民一人当たり貸出冊数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	7.4冊	7.5冊	6.4冊	7.0冊	10冊

3 地域文化・芸術活動の振興を図ります

文化・芸術諸団体の中には高齢化や団体の担い手不足等により、これまでの活動を継続することが困難になりつつある団体もある。そのため、これまでと同様に補助金によって金銭的な援助をするともに、団体間の交流・連携等を情報共有や課題解決につなげ、各団体活動の活性化を図る必要がある。

また、歴史美術館等の各施設の活動を見つめ直し、運営方針を再検討しながら、来館しやすい環境を整備するとともに、近年重視される文化財の活用の一環として、未指定のものも含めて地域の文化財の価値を掘り起こし、その展示等に反映させ、地域の歴史について教育普及を図り、本市への愛着心や誇りを醸成する。

さらに、市民の関心と学習意欲に応えるような文化講座や芸術・文化の鑑賞機会を提供するため、近隣市の芸術・文化事業の状況の研究や公民館活動の活性化を通じて、充実した機会の提供が図れるよう努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
文化連盟・文化協会主催の文化祭等の入場者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	3,595人	1,576人	2,484人	2,476人	3,700人
歴史美術館入館者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	※1,663人	2,626人	1,301人	8,449人	3,000人
成羽美術館入館者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	17,851人	17,587人	10,728人	18,349人	20,000人
吉備川上ふれあい漫画美術館入館者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	10,848人	7,658人	8,666人	8,815人	12,000人
山田方谷記念館入館者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	4,936人	1,988人	2,722人	3,657人	5,000人

※令和元年度は、収蔵庫空調改修工事により上半期を休館としたため、通常より減少している。

施策2 文化財の保存と活用

1 文化財の保護・保存と有効活用を図ります

新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行したが、主たる公開施設等への入館者数は昨年度より微減の状況である。

備中神楽等の民俗芸能に関しては、新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行したことにより、活動が再開された団体も見られ、昨年度よりも補助金を活用した団体も増加し、活動も回復傾向にあると感じられる。文化財の保存における個別事業（史跡整備、文化財調査、天然記念物管理など）は着実に計画通り実施できている状況。また県指定文化財の松連寺本堂の保存修理にあたり、助成を行い、適切に修理が完了した。さらに、令和5年度には、新たに夫婦岩について文化財的価値が評価され、市指定天然記念物に指定された。

今後については、公開施設については、以前から実施していたイベント（特別公開など）などを継続するとともに、新たな企画などにより、メディア等への積極的な情報発信を行い、活用することが求められる。また、インバウンド等を見据えて、外国の方向けの情報発信にも努める必要がある。

他の文化財においても文化財の保存に関する相談件数などは増加傾向にあり、そうした相談には丁寧に対応するとともに、文化財の保存を前提としながらも、活用を図っていく方法を模索する必要がある。さらに各種事業、文化財の調査等は継続して実施し、必要に応じて現地説明会や講座等を実施するなど、文化財に触れる機会を提供する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
国指定文化財備中松山城入城者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	99,267人	45,909人	67,813人	65,939人	120,000人
臥牛山のサル生息数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	145頭	138頭	138頭	134頭	135頭

2 歴史を活かしたまちづくりを推進します

歴史的風致の維持向上にはハード整備だけでなくソフト面の取り組みも必要になる。コロナ禍以前の活動も徐々に復活してきており、日本遺産を中心とした交流人口の増加を目指している。本町・城下町地区の町並みを維持するため、引き続き歴史的町並み保存地区整備事業を活用した修理修景を推進するとともに、歴史的風致に対する住民意識の向上に努めるため当該制度の更なる周知を行う必要がある。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
歴史的町並み保存地区整備事業実施件数(累計)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	66件	74件	77件	78件	78件
吹屋伝統的建造物群保存地区保存修理事業実施件数(累計)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	146件	151件	153件	154件	160件
旧片山家住宅入館者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	8,114人	7,182人	7,150人	6,036人	9,800人
旧吹屋小学校日本遺産センター(仮称)入場者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	—	—	30,582人	28,208人	25,000人

施策3 スポーツの振興

1 ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します

スポーツ協会の組織力強化、生涯スポーツの推進、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、スポーツ推進委員の活動支援、スポーツ教室の開催等を実施し、スポーツ活動も活発になってきている。しかし、総合型地域スポーツクラブ「ピオーネ」の活動は、コロナ禍において大きな煽りを受け、参加人数が減少し、回復する手立てが必要。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
総合型地域スポーツクラブの加入者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	208人	154人	123人	112人	230人

2 スポーツを通じた青少年の育成を図ります

サッカー3ライズリーグ(年4回)、小中学校と連携した「夢の教室」(ユメセン)、トップレベルの選手やチーム、大学による講習会を開催し、スポーツ技術の向上と競技人口の拡大を図る取組、スポーツ少年団の支援など関係団体等との連携により、計画どおりの取り組みを実施できている。しかしながら、コロナ禍の影響で小中学生の体力低下が顕著に表れており、今後もスポーツを通じた青少年の育成を図っていく。

重要業績評価指標(KPI)	計画策定時	実績値			目標値
小学校(5年生)・中学校(2年生)体力テストのAB段階獲得率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	48.7%	51.9%	44.6%	46.0%	50.0%

3 スポーツ施設の充実と広域的なスポーツを推進します

施設整備については、老朽化している施設設備の改修や利便性向上のための改修整備を計画的に実施中。今後も計画的に進める。

広域的なスポーツ推進では、吉備国際大学シャルム岡山高梁の組織力・チーム力を強化するため運営補助、マラソン大会・自転車競技大会の開催、スポーツ合宿の誘致を進めており、今後も市外との交流を含む積極的な取り組みを行い交流人口の拡大に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
市外との交流を含む広域的なスポーツ機会への参加者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	15,000人	6,000人	10,570人	11,769人	16,000人
市外からのスポーツ合宿者受入人数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	1,600人	320人	2,500人	4,209人	1,800人

基本方針 4	たくましく豊かな心を未来へつなぐ学びのまち
政策 3	人権を大切にする共生のまちづくりを進めます

施策 1 人権尊重・男女共同参画社会の実現

1 人権が尊重される社会の実現に取り組みます

配偶者からの暴力などによる人権侵害に対する相談件数は減少傾向にある。
 幼少期からの人権教育や、継続した啓発活動を行っていく。
 人権問題学習講座は、加速化する人口減少や高齢化率の影響により講座開催回数は減少しているが、対象世代を絞り個別のニーズに沿った小規模な学習機会を充実させる取り組みを強化している。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
人権問題学習講座参加者数 (延べ)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	634人	0人	227人	199人	700人

2 男女共同参画社会の実現に取り組みます

男女共同参画の取組は、関係各課の取組も関わってくるため、部会等で各課の事業内容を把握しながら、第3次男女共同参画基本計画の数値目標達成のため関係各課と連携して事業を行う。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
審議会・委員会等における女性委員の割合	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	20.7%	23.6%	22.4%	22.4%	40%
市民意識調査の「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感しない」と回答した割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	76.9%	毎年調査なし	毎年調査なし	毎年調査なし	100%

施策 2 多文化共生社会の実現

1 国際感覚豊かな人材を育成します

令和5年度から国際姉妹都市トロイ市やフランス共和国アンペール高校との交流事業を再開した。
 令和6年度はオンラインを活用し交流を継続させるとともに、国際交流員による国際理解講座を積極的に行っていく。大学のあるまちの強みを活かし、市内の子ども達と留学生の交流事業にも取り組んでいく。

2 多文化共生社会の実現に取り組みます

現在実施している日本語教室は、外国人市民にとって交流・相談や異文化理解の場にもなっている。
 持続可能な多文化共生の推進体制を構築していくため、令和6年4月から配置された国際交流担当の地域おこし協力隊を中心に、市民ボランティアの育成・確保、企業との連携等を図っていく。

外国人市民の孤立化を防ぐとともに、市民の異文化理解を促進するため、地域・大学・企業等と連携して交流事業に取り組んでいく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
市国際交流協議会が主催（支援）する交流イベントへの外国人市民参加者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	46人	16人	26人	65人	150人
市国際交流協議会の企業会員数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0	0	3	3	6
ボランティア通訳登録者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	4人	10人	11人	8人	10人

基本方針 5 多様な主体との連携・協働による持続可能なまち

政策 1 市民が主役のまちづくりを進めます

施策 1 市民が主役のまちづくりの推進

1 協働が進む環境を整えます

各種団体・まちづくり協議会等との連携、支援により環境整備に取り組んでいるが、イベントやまちづくり活動は、地域の人口減少や高齢化により規模縮小や事業中止といった状況が見受けられる。引き続き、各種団体・まちづくり協議会等と連携し、人々の交流を促進するとともに、まちづくりの取り組みや活動を支援していく。

人口減少も顕著であるため、地域の担い手確保の対策として移住定住の取り組みに対し支援を行っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
市民提案型事業の取組団体数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	4団体	6団体	3団体	4団体	6団体	

2 主体的な住民活動を推進します

地域振興基金を活用して地域それぞれのまちづくり活動の維持・向上につながる取り組みに補助を行っている。各まちづくり協議会による地域の創意と工夫により、地域の実情に即した事業活動等への展開と限りある財源の効率的かつ効果的な活用を図り、「自助・互助・公助を基本にした協働と連携のまちづくり」を推進している。令和6年度からふるさと納税の使い道に「まちづくり支援」の枠組みを創設し、地域のまちづくりを応援してもらう仕組みに取組むことで基金の取り崩し額の抑制を図る。

また、近年では人口減少や高齢化により地域の担い手不足が問題となっており、まちづくり活動の縮小や廃止など地域活力の低下が生じている。このような問題に向き合うため、移住定住等をテーマとした研修会の開催により人材確保や交流人口拡大の手法を学び、地域活力の向上を図る。

3 市民団体の育成と連携を図ります

令和5年度は市民提案型まちづくり支援事業に7団体からの応募があり、4団体を採択している。毎年4～8団体の応募がある中で3～6団体が採択されており、地域が必要としている事業への支援を行っている。地域からの企画提案による事業実施により、「より良いまちづくり」を推進することができるため、広報・周知に尽力し、応募団体の増加や市民団体の育成と連携を図っていく。

また、採択団体同士がつながりを持ち個々の特性を活かしながら活動することで、お互いの活動の活性化に繋がるよう、採択団体同士の交流を図る。

施策 2 公聴広報の推進

1 公聴活動を推進します

令和5年度は、落合地域まちづくり推進委員会及び高梁市認定農業者協議会において実施。

年間を通じ、申し込みがあれば実施する形を取っているが、今後は特に若い世代が集まる場（母親クラブや子育て支援センターなど）に出向き、直接懇談できる仕組みづくりを研究する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値				目標値
市長と語ろう会開催回数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
	3回	1回	4回	2回	6回	

2 積極的に行政情報を提供します

若い世代に対して市からの情報が届きにくいという声を踏まえ、市のウェブサイトの充実はもちろん、X（旧 Twitter）や YouTube の情報発信が効果的と考える。SNS の特性を活かした情報発信により、親しみやすく目に留まりやすい編集方法を研究する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
市ウェブサイトの年間閲覧件数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	239万件	353万件	292万件	237万件	300万件

基本方針 5 多様な主体との連携・協働による持続可能なまち

政策 2 産学官民連携のまちづくりを進めます

施策 1 学園文化都市づくりの推進

1 魅力ある大学づくりと大学のまちを発信します

吉備国際大学学生の市内就職者数は10人未満の年が続いている。原因の一つである学生数の減少に歯止めをかけるため、学生確保に向けた従来からの支援制度を見直し、令和4年度から大学の主体的な取組を支援するための制度（魅力ある大学づくり支援事業）を創設。その中でも令和5年度から全ての入学者が対象となる特別奨学金制度を創設し、学生数の確保に取り組んでいる。

一方で、人材を求める側の市内企業と就職を希望する大学生の間でミスマッチが生じているため、大学のキャリアサポートセンターや市内商工団体、企業との連携を強化して、吉備国際大学生の市内就職者が増えていくよう後押ししていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
吉備国際大学学生の市内就職者数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	7人	7人	5人	8人	34人

2 産学官民の連携を強化します

大学を中心として関係団体で協議を進めてきた「地域連携プラットフォーム（仮称）」の設立が頓挫したため、産学官の連携強化に向けた新たな体制整備を模索している状況にある。一方で、高校生・大学生等が地域の魅力や課題について考え、提案・発信する取組が生まれており、また、市民主体の取組の中で学生と地域をつなぐコーディネーター人材の育成が図られている。今後はこうしたキーパーソンや関係団体との連携により、教育、産業、福祉など様々な分野において高校・大学との連携を深め、人材育成と地域課題解決につなげていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
『地域連携プラットフォーム（仮称）』参画企業・団体等との共同事業数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0件	0件	0件	0件	4件

基本方針 5 多様な主体との連携・協働による持続可能なまち

政策 3 持続可能な行財政運営を行います

施策 1 時代に対応した行政経営の確立

1 行政サービス改革を進めます

行政サービスを安定して提供できるよう、将来に負担を先送りすることなく歳出の適正化を図るとともに、事業実施のため財源を安定的に確保し健全な財政運営を行うために、単に一時的なコスト削減のみに取り組むのではなく、行政資源をしっかりと確保していくことや、事業規模や施設規模、サービスの提供手法を見直すことで、財政規模に見合う歳出構造へ転換を図ることを目的とした新たな行財政改革プランを令和 6 年度からスタートし、取り組みの 1 つとして行政サービスの質の向上と安定した提供を実現するために、行政サービスの民間委託による実施を進めている。

2 健全な財政運営を進めます

現在、進めている大規模事業について、今年度で完了予定であ

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
市税現年分収納率	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	98.9%	99.1%	99.1%	99.1%	99.1%
財政運営の健全化	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	経常収支比率	経常収支比率	経常収支比率	経常収支比率	経常収支比率
	96.3%	91.0%	96.2%	96.0%	96.0%
	実質公債費比率	実質公債費比率	実質公債費比率	実質公債費比率	実質公債費比率
	12.6%	11.9%	11.8%	11.3%	13.7%
	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率
	80.8%	70.9%	52.2%	48.1%	79.0%

り、今後の公債費の増加が見込まれる。令和 5 年度決算と総合計画のローリングの内容を精査し、適正な数値を把握したうえで「中期財政見通し」を作成し、今後の健全な財政運営に必要な取り組みを検討していく。

3 公共施設等の適正管理と市有財産の有効活用を進めます

平成 28 年度に策定した高梁市公共施設等総合管理計画では、人口減少及び高齢化に伴う財政難を背景に、公共施設等の適正配置を進めるとともに、効率的な管理や長寿命化対策や積極的な貸付、売却などを行っていくこととしている。計画策定から 7 年が経過したため、現在の本市の財政状況や公共施設の管理状況に関するデータを基にした将来の財政シミュレーションを行い、結果を反映した更新計画を作成する。また、公共施設等総合管理計画及び公共施設再配置方針に従い、各施設の個別管理計画を策定し、施設の再編と適正な維持管理を進める。

4 職員の能力向上と能力を活かせる仕組みをつくります

人財育成係（感動担当職員配置）を中心に、採用と育成を連携させた取り組みや職員の市に対するエンゲージメントの向上を目指して取り組む。

e ラーニング研修や選抜管理職研修、若手職員対象のブラッシュアップ研修などの独自研修を取り入れ、職員の研修への参加を促進する。

多様化する行政課題に対して、専門的な知識と技術で対応できる職員の確保を中心に、全国的な公務員離れによる職員の確保に努める。

横断的政策 1 人口減少対策に取り組みます

施策 1 移住・定住の促進

1 シティプロモーションを推進します

令和 4 年 3 月に策定した「高梁市シティプロモーション戦略」に基づき、令和 5 年 3 月にはブランドメッセージ「わたしあうまち高梁市」を作成した。

令和 5 年度は「わたしあうまち高梁市」の浸透とシビックプライドの醸成を図るための施策の展開として、「わたしあうまち高梁市」の公式 Instagram の開設や、田舎暮らし情報誌「TURNS」への誌面掲載、様々なジャンルの市民を紹介した「高梁ひと図鑑」の作成、中学・高校・大学生の活動やプロジェクトを応援する「高梁みらい共創チャレンジ事業」などに取り組んだ。今後もこの戦略に基づき、中長期的な視点で継続的なプロモーション活動を展開していくため、PDCA サイクルにより進捗管理に取り組んでいく。

2 関係人口を拡大します

高梁 ist 制度により、本市出身者やゆかりのある方で、自ら率先して高梁の魅力や情報を全国発信していただける方を「高梁 ist」として登録し、定期的(毎月)に市内の観光情報等をメール配信している。県外会員の確保が課題である。

令和 5 年度から実施の保育園留学を継続し、観光資源や地域の方との交流を通じて関係人口の拡大深化を図り、将来の有漢学園の児童生徒の確保と移住・定住に結びつけていく。また令和 6 年度からふるさと回帰同窓会補助制度を復活し、本市への関心や愛着を有する本市出身者に対して関わりの深化や将来的な U ターンを働きかけていく。

企業版ふるさと納税は、前年度同様高い水準の寄付金額を受領した。引き続き積極的な PR を行い、企業版ふるさと納税を契機とした関係人口の創出につなげていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
ふるさと納税の件数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	3,744件	15,312件	17,795件	16,819件	20,000件

3 都市部からの人の流れを拡大します

令和 4 年度から移住コンシェルジュを配置し、対面及びオンライン形式での移住相談体制を構築している。空き家の現地案内では移住受入団体や各地域市民センターと、就農希望者への対応については農林課等との連携協力に努めている。令和 5 年度の移住コンシェルジュの相談件数は 43 件で、そのうち移住まで結びついたのは 11 件 20 人である。

平成年度から委嘱開始した地域おこし協力隊は令和 5 年度末現在 19 人に委嘱し 11 人の移住につながっている。また、協力隊員の人材確保のため、令和 6 年度から新たに地域おこし協力隊インターン制度を開始する。

また、空き家情報バンク制度においては物件登録・成約とも動きが活発化している。空き家対策特別措置法や民放（相続法）の一部改正を契機として空き家の流動化を促進し、移住の受入基盤として有効活用する。併せて空き家や農地を活用した地域ぐるみの移住受入体制の整備を働きかけていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
空き家情報バンク制度成約件数のうち、市外からの移住につながった件数	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	31件	20件	21件	23件	40件
地域おこし協力隊等外部人材の活用人数(国県制度等によるもの)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	3人	6人	5人	6人	8人

4 若い世代の定住促進を強化します

若い世代の定住促進に向けては、アンケート調査等から住宅取得支援に対するニーズが高いことから、住宅の新築・取得に対する助成、新婚世帯に対する家賃等助成、分譲地の造成や子育て世帯向け賃貸住宅の整備促進など、住宅支援施策の充実に取り組んでいる。今後も若い世代のニーズにマッチした新たな対策を模索していく。

また、若い世代の市内就職については、就職面接会への参加者（求職者）自体が少ない状況にあり人材不足が深刻化している。新規学卒者や U ターン人材の就職につながるよう、市内の中高学生やその保護者に向けて、情報発信の強化への取組、企業訪問バスツアーや企業説明会の開催を積極的に進めていく。

5 コミュニティの機能維持に努めます

人口減少や高齢化が進行するなかで、コミュニティでの支え合い、助け合う取り組みを推進してきたが、地域の担い手確保が地域課題となっており、人材がいない中での地域力低下が懸念されている。小規模町内会が増えていることから、町内会の負担軽減や近隣町内会との協働など集落維持に必要な柔軟な支援制度の実施について検討を行っていく。

また、高齢化の進行により地域公共交通の重要性は高まるため、新たな高梁市地域公共交通計画の策定に伴い、地域の実情に合った区域運行等の導入について検討を行っていく。

横断的政策 2 災害に強いまちをつくります

施策 1 防災対策の強化

1 地域防災力の強化を図ります

自主防災組織結成に係る負担軽減を図りつつ、自主防災組織のカバー率の向上を目指す。消防団の勧誘及び設備を整備しながら引き続き訓練に取り組み地域防災力の向上を図って行く。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
地域自主防災組織のカバー率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	22%	36%	33%	38%	100%
防災士資格取得者数(累計)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	40人	69人	90人	106人	80人

2 防災学習の推進を図ります

マイタイムライン作成等に加えデジタル技術の活用による AR ゴーグルでの浸水疑似体験等を実施するなど、より実践的な出前講座や防災学習を積極的に進めており、引き続き、若年層から高齢者まで防災意識の一層の高揚に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
マイ・タイムライン講習会開催数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	2回	8回	11回	12回	12回

3 災害に対し強靱なまちづくりを進めます

ブロック塀等の撤去、建築物の耐震診断、木造住宅耐震改修について補助事業を実施し、高梁市耐震改修促進計画に基づき広報誌（チラシの配布）やホームページで撤去・耐震診断・耐震改修の啓発及び補助事業の案内をしている。

大規模盛土造成地が県の第一次スクリーニングで9箇所抽出され、令和4年度に第二次スクリーニング計画策定で現地調査・簡易地盤調査を実施して8箇所は経過観察、1箇所は切土で調査範囲から除外した。今後大きな変化が見られた場合は調査を検討する。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
公式ツイッターフォロワー数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	400件	690件	947件	1,195件	2,500件
防災訓練参加者数(5年間累計)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	200人	230人	1,080人	1,730人	1,500人
危険なブロック塀等の解体撤去の件数(累計)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0件	0件	1件	1件	50件
大規模盛土造成地の安全把握調査(第2次スクリーニング)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	9箇所

4 国民保護計画を推進します

国民保護情報（Jアラート）について、複数の伝達手段を確保し維持管理を適切に行っており、これら情報を活かすために、内部での情報共有をより一層密なものとするための方法を検討するとともに、住民参加の防災訓練の検討を進める。

5 消防、救急、救助体制を強化します

査察は火災発生危険、これに伴う人命危険を予防してもらうことを目的としており、消防用設備等の維持管理や防火管理体制等の指導に引き続き取り組む。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
普通救命講習受講者	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	300人	63人	146人	318人	400人
防火対象物及び危険物施設査察率(査察件数／査察計画数)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	47%	29%	17%	33%	100%

6 災害時避難行動要支援者への支援体制を強化します

令和6年3月現在で医療機関、社会福祉施設等と協定締結し、6施設を福祉避難所として確保しているが、市街地での福祉避難所の確保ができていないため、市街地における福祉避難所の確保に向けた働きかけをしていく。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
福祉避難所設置数(累計)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	6施設	6施設	6施設	6施設	12施設

横断的政策 3 未来革新技術を活用します

施策 1 Society5.0 の推進

1 情報通信基盤を整備します

令和 4 年度でケーブルテレビ網の幹線光化が完了し、市内全域で超高速インターネット環境の整備が完了した。

今後は、吉備ケーブルテレビと連携し、サービスの向上等を図り、ケーブルテレビ及びインターネットの加入促進に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
ケーブルテレビ加入率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	74%	74%	72.6%	71%	74%

※現状値加入率は、ケーブルテレビ運営事業者がとりまとめた数値を掲載

2 デジタル化を推進します

市民が必要とする子育て、介護関係の 26 手続や住民票等の申請をオンラインでも完結できるよう取り組んだ。

今後は、受け取った電子データを効率的に活用できるよう検討を進めるとともに、利用者にとっての価値の高い手続きをオンライン化できるよう、UX（ユーザー体験）の高い申請フォームの作成・作成支援を行う。

また、業務効率を図るため、あるべきプロセスを制度・体制・手法を含めて一から検討する B P R（業務改革）に取り組む。

重要業績評価指標 (KPI)	計画策定時	実績値			目標値
行政オンライン化手続数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	4件	4件	6件	53件	49件

※目標値は、国の「デジタル・ガバメント実行計画（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）」による数。ただし、都道府県手続き、高梁市にない手続きは除く。

3 スマートシティの実現をめざします

D X 推進アドバイザーの協力を得ながら、様々な分野における施策目的・課題を整理し、課題解決の手段としてデジタルツールを活用した。

高梁川流域連携事業や民間事業者と連携した高齢者等を対象にしたデジタルデバインド対策としてスマホ教室に取り組んだ。

今後は、高齢者等を対象にしたデジタルデバインド対策を継続していくとともに、デジタル人材の育成、拡充を図る。

令和6年度施策マネジメントについて

1. 施策マネジメントについて

「高梁市総合計画」には、高梁市がめざす都市像「健幸都市たかはし」の実現に向けた「基本理念」や「基本方針」、これらを実現していくための「政策」やそれを支える「施策」、その展開方針が示されています。

また、「基本構想の推進方針」の一つとして、次のとおり「評価・検証の方針」を定めています。

5. 評価・検証の方針

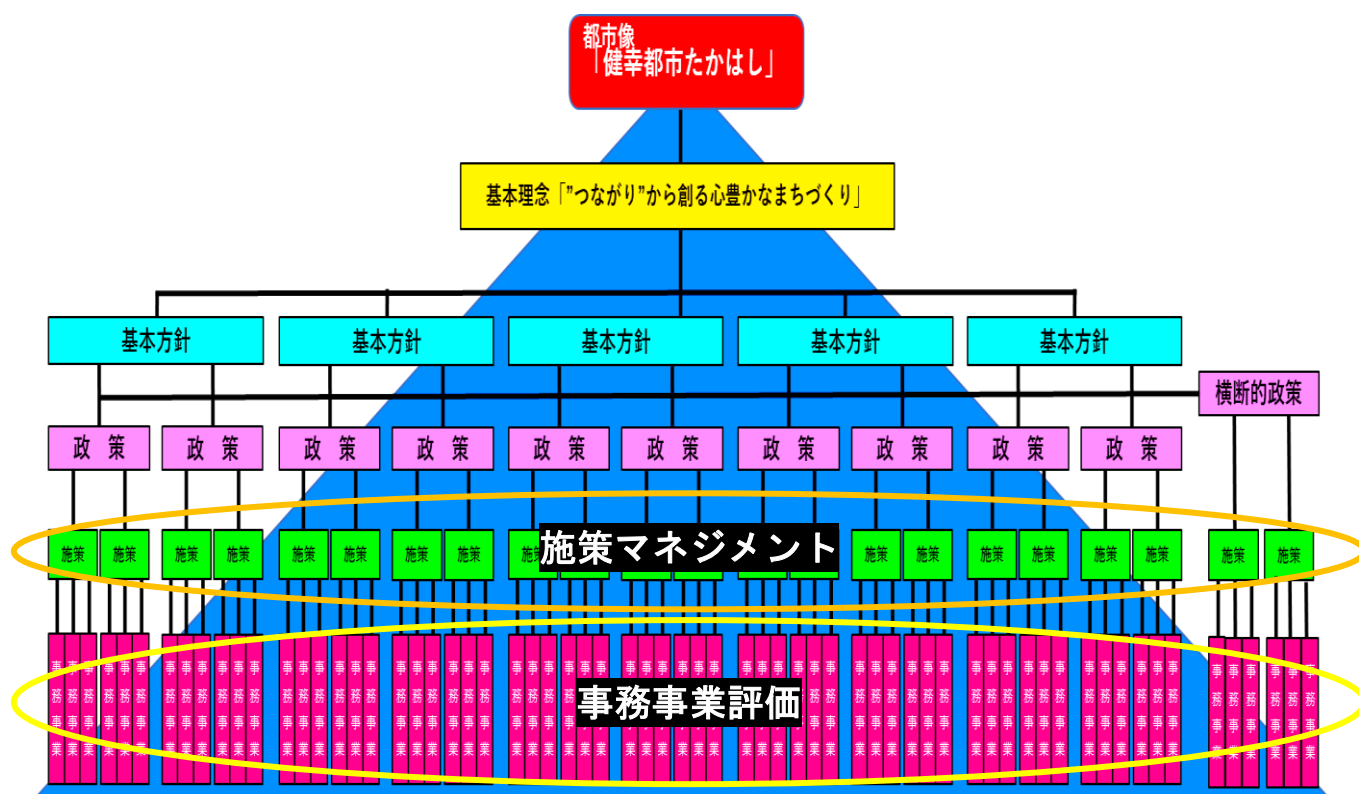
基本計画において、都市像及び長期人口ビジョンの達成状況を測るための基本目標指標を定めるとともに、この基本目標指標の達成に向け、各施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標）を定めます。

この基本目標指標と重要業績評価指標の達成状況を毎年把握し、庁内及び外部有識者会議での評価・検証も踏まえて、必要な見直しと改善を図り、翌年度への事業実施に活かしていくPDC Aサイクルを確立します。

「施策マネジメント」とは、「政策」を具体化して、各分野の方向性を示す「施策」について評価する制度のことです。毎年、「施策」の進捗状況を評価・検証し、今後の方向性を決定するもので、「事務事業評価」の基になる評価のことです。

総合計画では、「基本方針」の下に「政策」が、「政策」の下に「施策」が、「施策」の下に「施策の展開方針」が掲げられ、その下に様々な「事務事業」が連なっています。

「事務事業」の成果の一つひとつが「施策」の成果につながり、「施策」の成果の一つひとつが「政策」の成果へとつながり、最終的に都市像である「健幸都市たかはし」の実現をめざします。



2. 施策マネジメント実施の目的

(1)PDCAサイクルの定着

前期基本計画で定める「めざすまちの姿」や「目標指標」の達成に向け、P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルの定着をめざします。

(2)施策の着実な推進

解決すべき課題や見直すべき事項等を整理して、事業の推進や予算編成に反映することで、施策の方向性に沿った事業展開を図ります。

(3)透明性の高い行政運営

施策の評価・検証に市民が参画する仕組みを構築するとともに、毎年、施策の進捗状況を公表し、市民と情報を共有化することにより、透明性の高い市民協働の行政運営をめざします。

(4)目的意識を持った業務遂行

施策の目標や課題、進捗等を組織で共有するとともに、「めざすまちの姿」を再確認・再認識することで、職員一人ひとりが常に目的意識を持って業務を遂行することをめざします。

3. 施策マネジメント実施の流れ

7月～

8月 施策マネジメントシートにより、各施策の担当課で進捗状況の評価・検証を実施

9月 6日 施策の進捗状況について、総合戦略推進本部（本部長：市長、部長級職員で構成）で協議

9月17日 高梁市まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議（各種団体代表者等で構成）に進捗状況を報告し意見聴取を実施。

10月 有識者会議での意見を担当課にフィードバック。
「施策の進捗状況」について、市HPで公表。

10月～

11月 「施策マネジメント」及び「事務事業評価」の結果を基に、各所属において次年度予算編成